

## 目標（5）

# 地域ぐるみで 子育て・子育てを支えます



▲保育園運営（地域の方との交流）

### I. 目指す姿【PLAN】

目標達成に向けての考え方	地域社会を構成する地域・事業者・関係機関と連携し、子育て・子育てを総合的に支援することにより、「社会の宝」である子どもが健やかに成長でき、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子育てと仕事の両立など、安心して子どもを産み、育てられる環境が整っています。</li> <li>◇ 子育てを楽しむ親や地域の大人が増え、親子の対話や世代間交流が活発に行われ、子どもとともに成長しています。</li> <li>◇ 子どもの視点に立った成長支援が地域ぐるみで行われ、子どもがのびのびと活動し、家庭やまちに笑顔があふれています。</li> </ul>

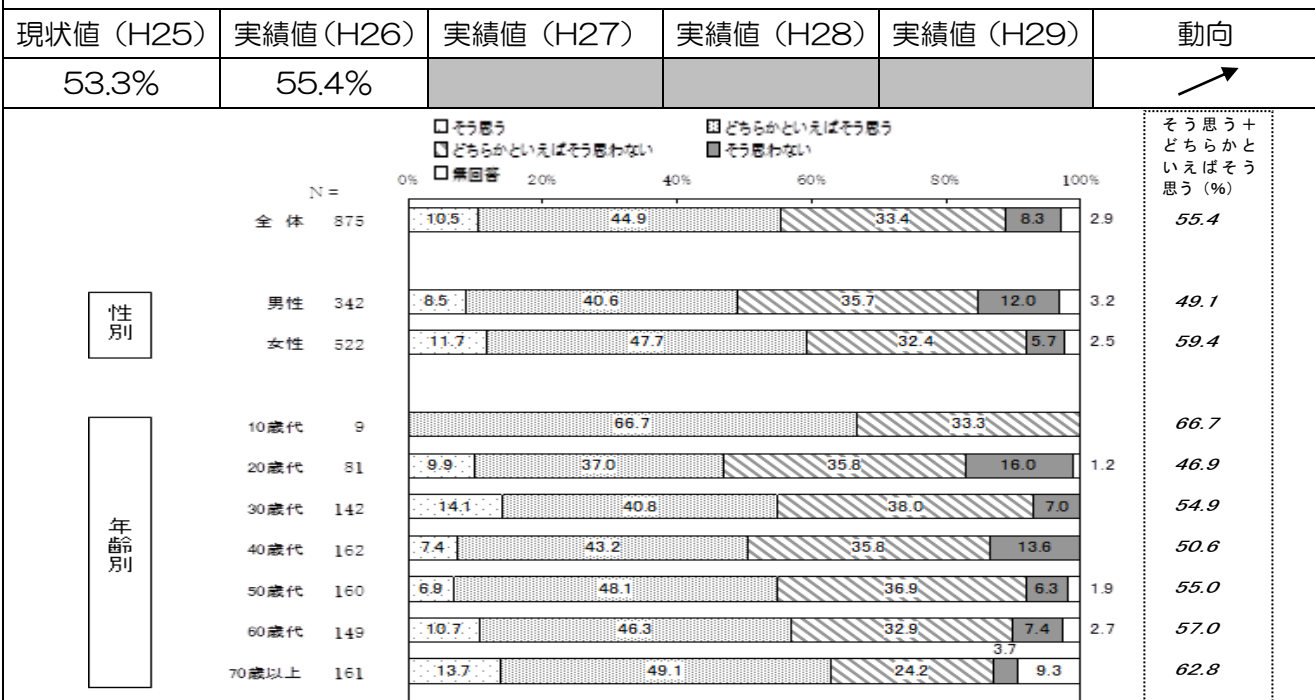
### II. 目標達成のための主な取組み【DO】

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
(1) 「高浜市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、多様で柔軟な保育サービスの提供など、子育てニーズを適切なサービスに結びつける取組みを進めます。	①人口分布が多い4歳児において、弾力運用による対応を行った。	H26.4～ H27.3
	②家庭的保育の新制度対応について検討した。（食事、勤務体系等）	H26.4～ H27.3
	③子ども・子育て会議を開催し、「子ども・子育て支援事業計画」を策定した。	H26.4～ H27.3
(2) 子どもの想いを理解し、子どもの視点に立って、成長を支援できる大人を増やす取組みを行い、「地域の子育て力」を高めます。	①子ども市民憲章普及啓発冊子「おとなも子ども」を配布・設置した。	H26.4～ H27.3
	②子育て支援団体の活動内容を、ブログを活用したシステムで提供できるようにした。	H26.7
	③市ポータルサイトの更なる利便性の向上のため、利用者ニーズの把握のためのアンケートを実施した。	H26.11
(3) 世代間や異年齢同士の子どもの交流機会を豊かにし、子どもの自主性・社会性を育む居場所を充実します。	①市内5つの小学校で放課後居場所事業を実施した。	H26.4～ H27.3
	②放課後居場所事業において、雨天中止時等の対応を検討した。	H26.4～ H27.3
	③夏季休暇において、昼間保護者がいない児童を対象に、弁当持参で児童センターを利用することができるサマーキッズを実施した。	H26.7～8

### Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

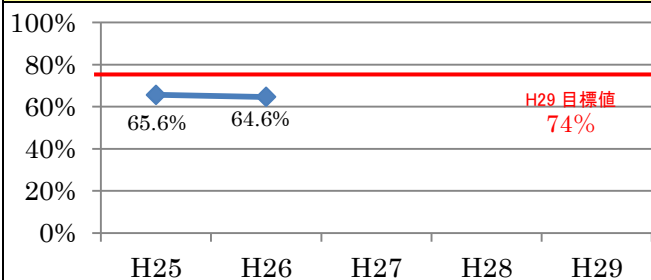
#### 1. 市民意識調査結果

【設問】地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思う

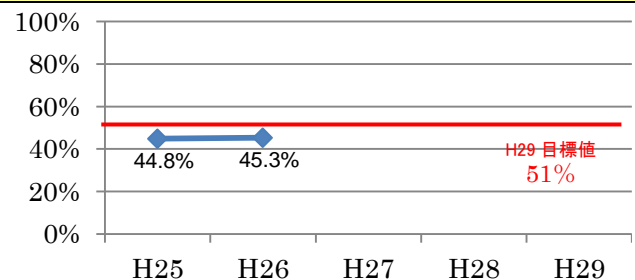


#### 2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 子どもを産み、育てやすいと感じている人の割合



2) 子どもとふれあう行事に参加したことがある人の割合



#### 3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析（要因・課題等）

- 「市民意識調査」は、策定時に比べ 2.1% の増の結果となった。60歳代を中心に50歳代以降で前向きな回答が増加している一方、今の子育て世代である20歳代を中心に40歳代以下で減少しており、世代間のギャップがあり、当事者は、より一層の支援を求めている。地域では、いずれの学区でも、親子が参加する行事が企画されており、より積極的に地域で取り組まれることが期待されている。これらのことから、子育てに対する世代間のギャップを埋めるとともに、地域のシルバー世代をはじめ、企業や働く現役世代の男性も含め、あらゆる世代が子育てに寄り添い、男性の働き方の見直しを含め、子育てと仕事の両立など、地域の子育て支援をさらに充実していくことが必要である。
- 指標1) は1%減である。これは、市民意識調査結果で分析したとおり、子育て世代が、さらなる子育て支援の充実を求めていることの表れと考えられる。
- 指標2) は0.5%増と、目標値に向かって上昇している。男性の参加が3.5%増加しており、女性よりも増加をしている。翼小学校区や高取小学校区、高浜小学校区で増加しており、子どもとふれあう行事の充実が伺える。
- 子どもの視点に立った成長支援が地域ぐるみで行われ、子どもがのびのびと活動し、家庭やまちに笑顔があふれているのかどうかについては、現在の指標では大人の目線で調査していることから、測定できない部分であるため、子どもを対象とした調査をどのように行っていくのが課題である。

#### IV. 課題と今後の取組み【ACTION】

課題	課題解決に向けた新たな取組み（案） 見直し・改善（案）
<p><b>（１）保育サービス等の拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援の制度や施設、地域の子育て支援は拡充されてきたが、より一層の充実が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画に沿った事業推進をしていくとともに、子どもの視点を忘れずに、子ども・子育て会議等での意見を踏まえ、必要に応じて計画を見直し、将来負担も含め、適切なサービスの提供を図る。</li> <li>利用率が下がっている幼稚園等を活用し、認定こども園化を図るなど、保育園の待機児童対策を図るとともに、放課後居場所事業を活用し、児童クラブの待機児童対策にも取り組んでいく。</li> </ul>
<p><b>（２）地域での世代間の関わりの拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域で子どもや親子向けの行事などが増えているが、子育て世帯が求める支援にはつながっていない。</li> <li>子どもの成長には、地域の様々な人との触れ合いが必要であることから、子どもの居場所では、地域とより連携し、地域で世代を超えた交流をする機会が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の身近な場所の中に、世代を超えた人との関わりができ、子育て中の親子が安心できるような居場所ができるようにする。</li> <li>地域の達人等の協力を得て、様々な人との触れ合いの場がある居場所となるようにする。</li> </ul>
<p><b>（３）関係者と連携した取組みの強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内で提供しているサービスや行事などの情報が、保護者にしっかりと届かなければならない。</li> <li>子育て支援団体が市内で様々な活動を行っているので、もっと必要な情報が届くようになり、団体間の情報共有が進む必要がある。</li> <li>子どもや子育てに対するギャップが感じられるので、事業主や企業で働く子育て世代の男性を含め、あらゆる世代の理解が得られるように、啓発していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種子育て支援情報が簡易に得られる環境をより充実させていく。</li> <li>活動団体の情報提供の充実に加え、活動の充実につながるように団体間の情報共有等の連携を図る。</li> <li>子どもの視点を意識した取組みが進むよう、子どもからの意見を取り入れていく。</li> </ul>

#### V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

##### Ⅱ. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して

Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

Ⅳ. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

その他、目標の達成に向けて